

そろえよう菊西



昨年度3月の休校期間、各担当者が集まり、西小の課題とその改善策について話し合いの場を設けました。その後、各主任と校長のヒアリングを行い、こんなところをそろえて行くことが大事！と作ったのが、右の「そろえよう菊西 2020」です。

ここには、項目だけ載せていますが、先生たちの手持ちの「そろえよう菊西」には、細かい点が書いてあります。



基本の授業

- チャイム着席
- 授業開始は黙想
- 黙想終わりは先生の合図
- 「姿勢！○○を始めます！」
- あいさつは座ったまま



例えば、授業開始。起立！礼！座って授業を始めようとする、椅子の音などでせっかくの集中が途切れてしまう場合もあります。高学年から、教科担任制を導入することもあり、全学級こんな風にそろえましょうというわけです。

例えば、そうじの時間は、無言掃除が基本。「黙想！」の放送があれば、階段だろうが、外に一步出かかったところであろうが、みんな立ち止まってその場で黙想をします。しかし、その直後しゃべり出す子どもたちもいました。また、通りかかると「あいさつをしましょう！」の方が優先して「こんにちは」から無言掃除が崩れることもありました。そこで、左のことをそろえようとなったわけです。

菊陽西小の職員みんなで同じ方向を向いて子どもたちを育てていきます。

そうじ

- 予鈴で掃除場所へ移動
- 黙想
- 黙想後は、必ず無言！
- 掃除時間の挨拶は会釈のみ

コロナ対策～給食～



給食を取りに行く・返しに行くときの対策は、先日お知らせしました。今日は、その他の対策についてお知らせします。

給食当番もそうでない子も、全員石けんで手を洗います。(洗い方については5月28日のリモート集会の時に、道田先生から♪手をたたきましょ♪に合わせて洗う練習をしました。各手洗い場に掲示中)その後、全員アルコール消毒をします。

食べる向きは、全員前向き。もちろん、食べる直前までマスクはつけています。班にはしません。(インフルエンザ流行期もそうしています)トンぐやおたまは、その学級に入る先生か当番の子しか触りません。お替わりは必ず大人がします。コロナウィルスが心配な今年度は、歯磨き粉は使いません。うがいをして吐き出すときも流しに顔を近づけるよう指導します。

大規模校なので、難しい面もありますが、細かいことまで全職員で精一杯の対策をしています。

きりとり

5年～田植え～

田植え体験をさせたいけれど場所がない。結局、JAの「希望する学校にはバケツ苗用、種粃キットを無料で提供します！」との情報にたどり着き、大田黒会長に仲介していただき175人分のキットをいただきました。休校中に配付し、家で育ててもらいました。5月末に各自バケツを持参してもらい、6月1日は、土作りをし、芽出しをした苗を植えました。これがバケツ田んぼです。

バケツを置く場所は、4年生のひょうたん畑の隣の土地の有効活用もできています。水運びはちょっと大変そうです。



菊陽西小だより

6月

NO.9

R2.6.3

菊陽西小学校

文責：草場ルミ子

運動場の

運動場で元気に遊ぶ子どもたち。「子どもはこうでなきゃね！」「学校はこうでなきゃね！」いろんなところから聞こえてくる言葉です。しかし、北九州市の小学校でクラスター発生との報道。学校再開のプラス面と感染防止は百%ではないというマイナス面、そんな中、精一杯できることをやるしかありません。今年度は、学校全体、6月がまるで4月の新年度のような雰囲気です。コロナで休校にならなければ、五月三十日(土)に運動会を実施するはずでした。雨天ならば翌三十一日(日)、予報では雨でしたが、土曜は曇り、日曜は晴れ：練習するはずだった日も日向は暑いけれど風涼し。あくコロナさえなければ：と一人しつく思っていました。